

ソレノイド駆動式ダイヤフラム定量ポンプ『PW シリーズ』発売



PWシリーズ

次亜塩素酸ナトリウム注入専用機
DCLPWシリーズ

CLPWシリーズ

株式会社タクミナ(本社:大阪市中央区、代表取締役:山田信彦)は、2012年2月2日にソレノイド駆動式ダイヤフラム定量ポンプ『PW シリーズ』を発売いたします。

『PW シリーズ』は、少量の薬品注入用途に開発された小型のダイヤフラム定量ポンプ。

もっとも大きな特長として、次亜塩素酸ナトリウム注入専用機には、注入不良の原因となる気泡の混入を未然に防ぐエアブロック機構と、気泡が混入しても確実に排除するインライン式自動エア抜き機構(特許出願中)を搭載。エア抜きに要する時間は従来の当社製次亜塩素酸ナトリウム注入専用機と比べ約1/3に大幅短縮した。

その他の特長としては、ますます関心の高まる安全・省エネ機能が充実。新機能のSAFEモードは、吐出側配管の圧力が規定値以上に上がらないように抑え、事故を未然に防ぎます。ECOモードでは、吐出圧力に応じてポンプ自ら消費電力をカットし省エネに貢献します。

■ ソレノイド駆動式ダイヤフラム定量ポンプ『PW シリーズ』の主な仕様

吐出量:30~220mL/min

最高吐出圧力:2.0MPa

制御方式:パルス信号制御タイプ、アナログ信号制御タイプ、タイマー制御タイプ

接液部材質:PVC、PVDF、ステンレス、アクリル

■ ラインアップ

PWシリーズ:一般薬品注入タイプ、高粘度薬品注入タイプ、ボイラ薬品注入タイプ、
高圧注入タイプ

DCLPWシリーズ:エアブロック・インライン式自動エア抜き機構搭載

次亜塩素酸ナトリウム注入専用機

CLPWシリーズ: インライン式自動エア抜き機構搭載
次亜塩素酸ナトリウム注入専用機

- ワンランク上のリスク管理を実現する3タイプの安全機能
 - ・SAFE モード(異常圧力を発生させない): 送液の力を制御し、規定値以上の圧力上昇を防止
 - ・簡易リリーフ弁(異常圧力を逃がす): 万一、圧力が設定値以上になると圧力を開放
 - ・警報機能(異常圧力を知らせる): 配管の詰まりなど異常圧力が発生すると警報でお知らせ

- 消費電力の削減に貢献する ECO モード
運転状況を常時監視し、吐出側配管の圧力が低い時には、自動的に電力をカット。消費電力を最大約55%削減します。

- 多彩な制御機能
 - パルス信号制御タイプ: 外部からのパルス入力信号に応じて、注入量の制御が可能。
 - アナログ信号制御タイプ: 外部からのアナログ信号に応じて、注入量の制御が可能
 - タイマー制御タイプ: 設定した間隔でのインターバル運転や日、週単位で設定した時刻にON / OFF制御が可能

製品の詳細についてのお問い合わせ

株式会社タクミナ 営業企画グループ

TEL: 06-6208-3973

URL: <http://www.tacmina.co.jp> メールアドレス: joint@tacmina.co.jp